

分掌	重点目標	評価項目	中間評価
教務部	授業を大切にす。	7限授業に伴う増加単位、増加コマを活用し基礎、基本の習熟に努める。全体の底上げを工夫する。	生徒が「できている」と回答しているものが66%である。今後とも「基礎基本の習熟」に努めたい。
		46分間の授業を大切にする為に教員は生徒に迅速な行動を働きかける。	チャイムとともに授業が始められるようにしている。今後ともチャイムから授業が開始できるようにしていきたい。
		曜日変更等を行うことにより1単位当りの授業時間数の均一化を図る。	月曜日の7時間目のローテーションや曜日変更によって授業時間数の均一化を図っている。
		教員の出張、休暇に伴う自習・課題を回避するために時間割変更を追求する。	今年度の時間割も変更が難しいものである。担当者の努力と教員の負担で何とか頑張っているが、難しい状況である。
		授業を大切にするために諸連絡を迅速、適正に伝達する。	生徒の30%が「できていない」と回答していることは重大である。教員がしっかりと連絡するように徹底したい。
		定期考査を厳正に行う。	定期考査を厳密に行うことは当然であって、「できていない」の回答が生徒に10%以上もいるのは気になる。全員から「できている」と回答されるようにしたい。
		学習アンケートを実施し、各教科、学年でも分析し、その結果を授業に活かす工夫をする。	1学期の期末考査で実施し、9月にそのデータを示した。この結果を教科・学年で指導に活かしてほしい。
生徒指導部	品位ある生徒の育成	制服の正しい着用	昨年度と同様で、教員の評価は低く、継続的な指導が最も必要とされる項目であると考えている。保護者・生徒の評価が高いのは、1年生での“ベスト着用”をはじめとする各学年の指導の効果が理由ではないかと考えている。今後、現状に合った指導について検討していき、改善を図りたい。
		基本的な生活習慣の確立	遅刻・欠席などの状況がここ数年落ち着いており、「できている」の評価も高い。保護者の方への協力と理解に努め、各学年と協力し指導を継続していきたい。
		挨拶の励行	挨拶については例年通り、高い評価を得ている。挨拶は社会生活の基本でもあるので、この雰囲気継続させていきたい。
		整理整頓の推進	整理整頓については、ここ数年良い状態に向かっていると考える。今後も、定期考査や長期休業などの機会を活用し、各学年・各分掌と協力し指導を行ってきたい。
進路指導部	進路について考える	生徒が自己の適性・能力・希望を正確に把握するため、進路に関する情報や資料を提供する。	各学年で進路通信を発行し、生徒に進路について考える機会を提供した。2学期以降は学力考査・模試などの結果をもとに、より多くの情報をわかりやすく提供する方法を考えたい。
		望ましい職業観・社会観を育てるため、キャリアワークショップを開催するとともに職業体験等への参加を促す。	3年生を中心に一日看護体験・幼稚園実習に参加し、実際の職業を体験した。また、2学期に1年生でキャリアワークショップを開催し、職業観・社会観の育成につとめたい。
	進路実現のための学力の向上	大学・学部・学科の理解を深めるためプチカレを実施し、オープンキャンパスへの参加等で主体的に情報を収集させる。	1・2年生を中心にオープンキャンパスへの参加を促し、多くの生徒が主体的に大学の情報を収集することができた。また、2学期に2年生でプチカレを開催し、学部・学科の理解を深めるきっかけとしたい。
		補習に積極的に取り組み、校内実考・外部模試等を有効活用することで学力の向上を図る。	各学年で状況に応じた補習を実施することができた。3年生ではその効果も少しずつあらわれてきているように感じられる。今後は1・2年生で学力考査・学習状況リサーチ等の情報をわかりやすく提供し、学力向上を図りたい。
生徒会部	生徒会活動の活性化	生徒の主体的活動を援助し、生徒会行事の活性化を図る。	新入生オリエンテーションをはじめ各種行事において活性化できている。前期球技大会は修学旅行より帰ってすぐという時期であったので、体調管理や準備が難しかった。それでも準備日・当日ともに生徒はよく動いた。丹霄祭での活動も概ね活発で、総体的に本校生徒の行事に対する姿勢は積極的である。
		生徒会執行部・常任委員会の活発化を図る。	執行部・常任委員会とも、上級生は仕事をする中で下級生を指導し、伝統を伝えようとする姿勢と努力が見られる。一般生徒が見えないところでの活動をよくやっているが、生徒会活動が上手く伝わっていない点も否めない。広報活動や議員自身の声で全校生徒に活動内容が伝わるようにしていきたい。
		部活動の活動時間を確保し、活動時間を守らせるとともに、活発化を図る。	部活動指導に積極的な教員が多く、土日祝及び長期休業中を含めて生徒は生き生きと部活動に参加している。熱心さからどうしても時間を超えて活動することもあるが、多くの生徒には「時間を守る」意識がある。
		ボランティア活動を企画・実行し、地域との交流・地域への貢献を行う。	夏休み中のボランティア活動・丹霄祭での各種バザー・募金活動を行った。部活動清掃ボランティア・1年生による一斉奉仕活動は今後行われる予定である。教職員に「できている」の回答が多いのは、本校のボランティア活動が浸透している結果だと考えられる。
総務部	保護者との連携(教育活動を積極的に公開する)	総会・学級懇談会に45%の出席を目標に担任から呼びかけをしてもらう。	学年が上がるにつれ出席率が低くなる傾向がある。今後も継続して呼びかけをしていく。
		各学年で最低1回は公開授業を実施し、実施後、保護者・生徒にアンケートを行い、授業改善に役立てる。	曜日の関係で公開授業科目が同一との指摘を受けたので、何とか改善したい。回収率についてもさらにアップさせるよう努力していく。
		総会、公開授業等の案内を充実させることで出席率を高める。学校ホームページにも載せて広報する。	案内及び当日の様子について迅速なホームページアップを心がけた。
		保護者会、地区別PTA、理事会等において保護者の意見、要望を聴取またはアンケートを実施して、その結果を「丹羽高だより」やホームページを利用して報告する。	各行事結果報告をタイムリーな時期にホームページ等を利用して実施することができた。

分掌・学年	重点目標	評価項目	中間評価
図書部	読書指導の推進	校内読書感想文コンクールを、実施する。	ほぼ達成できる予定である。
		読書への関心を高めるために、多読者表彰・雑誌展示会など各種イベントを実施する。	多読者表彰、雑誌展示会、読書会の開催を例年通り予定している。
		図書館だよりを定期的に発行し、推薦図書や話題の本を紹介する。	予定通り、発行している。生徒への情報発信を図書館だよりを通して一層充実させたい。
		季節に応じた図書館内の飾り付けを充実させる。	「梅雨」「夏」等の季節の飾り付けだけではなく、新着図書の紹介文も、掲示している。
		生徒のリクエスト本にできるだけ応える。	限られた予算の中で、調整しながら生徒のリクエストに応えている。
保健厚生部	校内の環境美化に努める。	啓発活動を、全体指導としては朝礼で、それ以外ではLT・ST時に、大掃除等機会ある毎にクラスに於いても意識づけをする。	美化だより1・2・3号を発行、全体集会での注意等啓発について積極的に行うことができている
		ゴミの分別を徹底するように、また、ペットボトルや空き缶を放置しないように指導する。	昨年に比べ明らかに放置ペットボトルやカンが減っており十分に指導できている。
		通常の清掃時間10分間や特別清掃の時間帯において、時間を有効に生かし、きちんと活動するよう指導する。	ほぼ達成できている。
		清掃点検を実施し、優良箇所は発表し、不良箇所については清掃監督者及び清掃担当生徒に連絡し、注意をする。	十分達成できている。
研修部	職員の資質向上を目指す。	各教科の研究授業の実施を通し、授業能力の向上を目指す。	今年度より、各教員とも、3年に1回の実施となった。実施状況は、4月当初作成の計画よりやや遅れ気味である。様々な場面で、実施の催促をしてゆきたい。
		現職研修を、充実した内容として、参加者の増加に努める。	1学期末・夏期休業中に実施し、充実した内容であった。参加者を増やす努力を続けたい。
		学校評価を実施することにより、学校改善に役立っている。	保護者・生徒の、学校評価閲覧者数は昨年より増加しているが、まだ30%以下である。更に、学校評価がホームページに掲載されていることを宣伝する必要がある。
第3学年	基本的な生活習慣を確立させ、社会人としての最低限のマナーを身につけさせる。	挨拶をしっかりとさせる。	概ねできているが、継続的に指導していく。
		整理整頓をしっかりとさせる。	特に、ロッカー内の整理整頓が不十分である。継続的に指導していきたい。
		身だしなみを正させる。	継続して指導していきたい。
	進路実現に向けたきめ細かなサポート体制の確立。	朝学・土曜学習・特別講座・センター演習・補習に積極的に参加させることにより基礎学力・応用力の向上を目指し、全員第1志望校の合格を目指す。	自分の目標意識を持っている生徒が増えてきたが、まだまだ充分ではない。基礎学力、応用力の定着を図るようさらなる指導が必要である。
進路目標達成のための学習時間の確保。	居残り学習へ積極的に参加させ、また「生活記録」を記録させることにより、家庭学習時間を確保させる。	積極的に参加する生徒が増えてきたが、勉強に充てる時間がまだまだ充分とはいえないので、まだまだ指導が必要である。	
第2学年	基本的な生活習慣の確立	挨拶をしっかりとさせる。	まだまだ出来ていない生徒もいるが、継続して指導していく。
		時間を守らせる。	一部の生徒を除いて、概ね出来ている。
		整理整頓をしっかりとさせる。	ロッカーの整理整頓を中心に継続して指導していく。
		身だしなみを正させる。	注意しても素直に聞かない者もいるが、継続して指導していく。
		「生活記録」を通じて、家庭における生活時間帯の指導を行う。	学習習慣がまだまだ身につけていない生徒が多いが、継続して指導していく。
		学年通信を週に1回程度発行する。	出来ている。
	具体的進路目標の設定	調べ学習やオープンキャンパスに参加するなどして具体的な進路目標を持たせる。	2年生全員が、今年度中に具体的な目標を持てるよう指導していく。
第1学年	品位ある39回生を目指す。	挨拶をしっかりとさせる。	概ね出来ている。今後とも品位ある生徒を目指して継続指導をしていきたい。
		時間を守らせる。	概ね出来ている。今後とも品位ある生徒を目指して継続指導をしていきたい。
		整理整頓をしっかりとさせる。	各自の机の中、ロッカーの中の整理が不十分。教材の持ち帰りの指導とともに徹底していきたい。
		身だしなみを正させる。 (特に女子のベスト着用をすすめる)	夏場の身だしなみは、かなり着崩しが目立った。今後ともベストの着用指導を含め、なお一層の指導を徹底したい。
	週あたり21時間の家庭学習を達成する。	「生活記録」を毎日記録させることによって、起床・学習・就寝の3点の時間を固定させる。	週あたり21h達成者は平均すると学年で30%弱とまだまだの感あり。今後とも学習中心の家庭生活が出来るように「生活記録」を通じて個別の指導を徹底していきたい。
		早朝学習を行わせる。	学年で50名の登録者と、期待に反してきわめて少ない人数。今後とも一人でも多く参加者を増やしていく指導を強化したい。
		週末課題をはじめとして具体的指示を行う。	概ね出来ているが、今後とも具体的指示と、徹底してやらせる指導を行っていきたい。